	アシー		実施設計段階						
配慮	項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み	全体
Q	建築物	勿の環	境品質			徐釵		係数	3.4
	室内理					0.40		-	3.5
1	音環均				-	0.15	3.0	1.00	3.0
			経音レベル アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		-	-	3.0	0.50	
	1.2	遮音	111 日 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1		-	-	3.0 3.0	0.50 0.30	
			開口部遮音性能 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
			界床遮音性能(軽量衝撃源)			_	3.0	0.20	İ
			界床遮音性能(重量衝擊源)		-	-	3.0	0.20	
	1.3	吸音			-	-	•	-	
2	温熱理				-	0.35	4.0	1.00	4.0
	2.1	室温制			-	-	4.0	1.00	
			室温	ᄗᆠᇩᆑᄮᄽᆂᆕᅷᄷᄗᇎᇸᄦᇸᅉᄹᄮᄽᅉᄱᆟᅩᆉᆛᆛᄼᅉᄱᇸᆉᄭ	-	-	-	-	
			外皮性能 ゾーン別制御性	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当	-	-	4.0	1.00	İ
	22	湿度制			-		-	_	
		空調力			-	_	_	-	
3	光・視				3.0	0.25	3.3	1.00	3.2
		昼光和]用		4.2	0.30	3.0	0.30	
		1	昼光率	共用部:2.5%以上	5.0	0.60	3.0	0.50	
			方位別開口		-	-	3.0	0.30	
	0.0		昼光利用設備 *****		3.0	0.40	3.0	0.20	
	3.2	グレア	対策 昼光制御	住宅部:カーテン.庇にて制御	2.0 2.0	0.30 1.00	4.0 4.0	0.30 1.00	
	3.3	照度	生儿咖啡	ユーロ pp . ノン ,ルルトー く 中リ pp	3.0	0.15	3.0	0.15	
		照明制	御		3.0	0.15	3.0	0.15	
4	空気貨		· · ·		4.0	0.25	3.6	1.00	3.6
		発生源	対策		4.0	1.00	4.0	0.63	
			化学汚染物質	建材材料は、JIS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	4.0	1.00	4.0	1.00	
	4.2	換気			-	-	3.0	0.38	
			換気量		-	-	3.0	0.33	
			自然換気性能	<住戸部分>居室面積の1/6以上の窓を確保	3.0	-	5.0	0.33	
	4.2	3 運用管	取り入れ外気への配慮		-	-	1.0	0.33	
	4.3		r 年 CO ₂ の監視		-	-	-	_	
			喫煙の制御			_		-	
Q2	サーヒ	≟ス性1			-	0.30	-	-	2.9
1	機能性				2.8	0.40	3.2	1.00	3.1
	1.1		・使いやすさ		4.0	0.40	4.0	0.60	
			広さ・収納性	火町炉飛供だされており 1000リンクニスのブロードボンドだ利田マ		-	4.0	-	
			高度情報通信設備対応 バリアフリー計画	光配線設備がされており、100Mbitクラスのブロードバンドが利用可 建築物移動等円滑化誘導基準(最低限のレベル)を満たしている	4.0	1.00	4.0	1.00	
	12		・快適性	注意が少期寺11月16的寺坐十(取邑版の)がりと何にしている	1.0	0.30	2.0	0.40	
	1.2		広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
			リフレッシュスペース			-		-	
		3	内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
	1.3	維持管	理		3.0	0.30	•	-	İ
				床面は防汚性の高い建材、床面は適度な水を使用して洗浄可能な 設計・構造、風除室の1次扉と2次扉が同時に開かないように距離を					
		1	維持管理に配慮した設計	確保、維持管理方法が大きく異なる床材は接近させていない、水切	4.0	0.50		_	
				りを外壁面へ設置、外部に露出する金属部材のメッキ処理等の特別ないない					
		0	維持管理用機能の使 児	な防錆対策	2.0	0.50			
2	耐田水	2 生・信頼	維持管理用機能の確保 性		2.0 3.1	0.50	-	-	3.1
			. <u> エ</u>		3.0	0.50	-	-	0.1
			耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
			免震·制震·制振性能		3.0	0.20		-	
	2.2		部材の耐用年数		3.5	0.30	•	-	
			躯体材料の耐用年数	日本住宅性能表示基準「3.劣化等級」における等級3相当	5.0	0.20		-	
		2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	内状化 5 社 16 年 以 5 5 25 年 2 2	2.0	0.20		-	
		3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔の理論をがなる。	四表江土州:10年以上~20年木油	4.0	0.10		-	
		5	空調換気ダクトの更新必要間隔 空調・給排水配管の更新必要間隔	 給水(B)、汚水排水(B)、雑排水(B)、Eは不使用	3.0 5.0	0.10 0.20		-	
		6	主要設備機器の更新必要間隔	ABREAT CONTRACTOR AND AND AND AND AND AND AND AND AND AND	2.0	0.20		-	
	2.4	信頼性			3.0	0.20	-	-	
			空調・換気設備		3.0	0.20		-	
		2	給排水·衛生設備		2.0	0.20		-	
		3	電気設備		3.0	0.20		-	
		4	機械•配管支持方法		3.0	0.20		-	
		5	通信•情報設備		4.0	0.20		-	
				光ケーブルの設置、電源設備・精密機械の地下空間への設置を避けている、災害時にケーブルTVなどにより災害情報が入手できる					-

3	***	外,声が	Art-		2.0	0.20	2.6	1.00	2.6
		生・更新 空間の			3.0	0.30	2.6	1.00 0.50	2.6
	3.1		階高のゆとり			_	3.0	0.60	
			空間の形状・自由さ			_	1.0	0.40	
-	32	荷重の				_	3.0	0.50	
-)更新性		3.0	1.00	5.5	-	
	0.0		空調配管の更新性		3.0	0.20			
			給排水管の更新性		3.0	0.20		_	
			電気配線の更新性		3.0	0.20			
			通信配線の更新性		3.0	0.10			
			設備機器の更新性				-	-	
			AP 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1		3.0	0.20		-	
00	숙시 *		バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	2.2
			版地内) B へ Lastur		-	0.30	-	-	3.8
1.	生物球	東境の(呆全と創出 ニュー	国内のナナナンル国際にプランフレノを取扱しいー・・フェウム・ラー	3.0	0.30	-	-	3.0
2	2 まちなみ・景観への配慮			周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている、良好な景観を形成している、既存樹木を保存し、良好な景観を形成している、既存何自然環境等を保存、復元、再生することにより、景観的に地域の歴史性を継承している、いったいを眺める地点(視点場)からの良好な景観を形成している。	5.0	0.40	-	-	5.0
3	地域性	生・アメ	ニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
J			とへの配慮、快適性の向上		3.0	0.50	•	-	
			温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
R			境負荷低減性			-		-	3.7
		ルギー	**->5 PC 141 PEN #9% I T		_	0.40	-	_	4.2
			製食荷抑制	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当	4.0	0.20			4.0
	. —			ログはしは形象が坐土・・・関系・サロ形・機関にのける手数4位日	3.0	0.20	•	-	3.0
			一利用	DCI_非代字 0.00 件字/审用如\	5.0			-	
			の高効率化	BEI=非住宅 0.83 住宅(専用部) —		0.50		-	5.0
4	効率的	的運用			3.0	0.20	•	-	3.0
			宅以外の評価		٠	-		-	
			モニタリング			-		-	
		4.2	運用管理体制			-		-	
			宅の評価		3.0	1.00	•	-	
		4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
		4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2	資源·	・マテリ			-	0.30	-	-	3.3
		原保護			3.4	0.20		-	3.4
Ĺ		節水		省水型機器を用いている	4.0	0.40		_	0.4
ŀ			用・雑排水等の利用	Д	3.0	0.40			
	1.2				3.0	1.00			
		1	雨水利用システム導入の有無 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
	# = "				-	-		-	2.0
2			原の使用量削減		3.2	0.60	•	-	3.2
L			で で に に に に に に に に に に に に に		2.0	0.10		-	
Ļ			整築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
			料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
		躯体材	料以外におけるリサイクル材の使用	床 断熱材 スタイロフォーム	3.0	0.20		-	
	2.5		「かたれ木サムン 立川ナルナ 十十						
		持続可	「能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
				躯体と仕上げが容易に分別可能、解体・改修・更新の際、容易にそ				-	
)再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分別可能、解体・改修・更新の際、容易にそ れぞれを取り外すことが可能	2.0 5.0	0.10		- -	
3	2.6	部材の						- - -	3.7
3	2.6 汚染物	部材の 物質含 複	の再利用可能性向上への取組み 同材料の使用回避		5.0	0.20			3.7
3	2.6 汚染物 3.1	部材の 物質含 有害物	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用		5.0 3.7	0.20			3.7
3	2.6 汚染物 3.1	部材の	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避		5.0 3.7 3.0	0.20 0.20 0.30			3.7
3	2.6 汚染物 3.1	部材の 物質含 有害物 フロン	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 の質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤	れぞれを取り外すことが可能	5.0 3.7 3.0 4.0	0.20 0.20 0.30 0.70			3.7
3	2.6 汚染物 3.1	部材の 物質含 有害物 フロン 1	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等)		5.0 3.7 3.0	0.20 0.20 0.30			3.7
	2.6 汚染物 3.1 3.2	部材の 物質含4 有害物 フロン 1 2 3	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 の質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒	れぞれを取り外すことが可能	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00		- - - -	
_R3	2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地。	部材の 物質含本 有害物 フロン 1 2 3	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 り質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 (所熱材等) 冷媒	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 -	-		3.4
_R3	2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地が 地球温	部材の 有害物 1 2 3 外環境 温暖化・	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・ への配慮	れぞれを取り外すことが可能	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.0 - 4.3	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33	-	- - - - - -	3.4
LR3 1	2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地が 地域現	部材の 物質含 有害物 フロン 1 2 3 外環境	□再利用可能性向上への取組み 「有料の使用回避 「質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・の配慮	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.0 - 4.3 2.9	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.33	-	- - - -	3.4
_R3	2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地が 地域3 2.1	部材の 有害物 有害物 1 2 3 外環境・ 大気汚	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 の配慮 を発放し	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.0 - 4.3 2.9 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.33	-	- - - - - -	3.4
_R3	2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地が 地球沿 地域3 2.1 2.2	部材の 有害物 有害物 1 2 3 外環境への 大温環境への 大温線	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ の改善	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50	-	- - - - - -	3.4
_R3	2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地が 地球沿 地域3 2.1 2.2	部材の 有害物 有害物 1 2 3 外環境への 大温環境への 大温線	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 の配慮 を発放し	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.0 - 4.3 2.9 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.33	-	- - - - - -	3.4
_R3	2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地が 地球沿 地域3 2.1 2.2	部材の 有害物 有害物 1 2 3 外環境への 温暖境への 温製力 温製力	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ の配慮 ・ の改善	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50	-	- - - - - -	3.4
_R3	2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地が 地球沿 地域3 2.1 2.2	部材の質含物質含物では、 1 2 3 3 5 2 3 3 5 2 3 3 5 2 3 3 5 2 3 3 5 2 3 3 3 5 2 3 3 3 5 2 3 3 3 5 3 3 3 5 3 3 3 3	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 の配慮 の配慮 が関連 がは悪化の改善 ・ンフラへの負荷抑制	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 2.6	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50	-	- - - - - -	3.4
_R3	2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地が 地球沿 地域3 2.1 2.2	部材の質含物質含物 有害 か 1 2 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 への配慮 の配慮 う発感 の配慮 う楽防止 環境悪化の改善 ンフラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 2.6 - 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33	-	- - - - - -	3.4
.R3	2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地が 地球沿 地域3 2.1 2.2	部材の質含物質含物 有害 か 1 2 3 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 可質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 の配慮 の配慮 う発防止 環悪化の改善 ・フラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67%	3.7 3.0 4.0 - 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 2.6	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25	-	- - - - - -	3.4
.R3	2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地が 地球沿 地域3 2.1 2.2	部材の質含物有害が 1 2 3 3 外環境への汚過 大温 製球 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・ の配慮 の配慮 の配慮 ・シフラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 交通負荷抑制	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 2.6 - 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33	-	- - - - - -	3.4
R3 1 : 2 :	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地域 2.1 2.2 2.3	部材の質言物有言物有言物有言物 2 2 3 3 外環化の 3 3 5 2 3 3 4 4	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷域 への配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 で配慮 でである。 ででする。 ででする。 ででなる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででな。 ででな。 ででな。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でです。 ででする。 ででる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででなる。 ででする。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 で	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 2.6 - 3.0 4.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33	-	- - - - - -	3.4 4.3 2.9
_R3	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地块 2.1 2.2 2.3	部材の質含物有害が 1 2 3 3 5 2 3 3 4 4 3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	再利用可能性向上への取組み 「材料の使用回避 の質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 の配慮 の配慮 シアラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 2.6 - 3.0 4.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33	-		3.4
_R3	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地块 2.1 2.2 2.3	部材の 有害 か	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 勿質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 の配慮 ・登防止 環境悪化の改善 シフラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 交通負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33	-		3.4 4.3 2.9
R3 1 : 2 :	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地块 2.1 2.2 2.3	部材の 有害 対	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・砂配慮 ・強悪化の改善 シフラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 の配慮 振動・悪臭の防止	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.40 1.00	-		3.4 4.3 2.9
R3 1 2 2	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地块 2.1 2.2 2.3	部材の 有害 対	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 ・ハロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 ・の配慮 ・砂配慮 ・強悪化の改善 シフラへの負荷抑制 雨水排水負荷低減 汚水処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 廃棄物処理負荷抑制 の配慮 振動・悪臭の防止 騒音 振動・悪臭の防止	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33	-		3.4 4.3 2.9
R3 1 : 2 :	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地球型 2.1 2.2 2.3 3.1	部材の 物質含者 有言や 1 2 3 3 外環境への 大温軟イ 1 2 3 4 への 環境 1 2 3 4 への 1 2 3 4 への	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	3.0 4.0 - 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 2.6 - 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 1.00 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.33	-		3.4 4.3 2.9
R3 1 2 2	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地球型 2.1 2.2 2.3 3.1	部材の 物質含物 有害物 1 2 3 3 外暖塊 気熱域イ 1 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.40 1.00	-		3.4 4.3 2.9
R3 1 : 2 :	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地球型 2.1 2.2 2.3 3.1	部材の 物質含物 有害物 1 2 3 3 外暖塊 気熱域イ 1 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	3.0 4.0 - 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 2.6 - 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 1.00 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.33 0.30 0.33	-		3.4 4.3 2.9
R3 1 : 2 :	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地球型 2.1 2.2 2.3 3.1	部材の 有害物 有害物 有害物 有害物	再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 バロンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.40 1.00 - 0.40	-		3.4 4.3 2.9
_R3	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地球型 2.1 2.2 2.3 3.1	部材の 物質 書物 外環性 ・ (気熱球イー 2 3 外環境 ・ (気熱球イー 2 3 4 (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の)	再利用可能性向上への取組み	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.40 1.00 - 0.40	-		3.4 4.3 2.9
_R3	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地球球 2.1 2.2 2.3 3.1	部材の 物質 書物 外環性 ・ (気熱球イー 2 3 外環境 ・ (気熱球イー 2 3 4 (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の)	再利用可能性向上への取組み	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.40 1.00 - 0.40 0.70 -	-		3.4 4.3 2.9
_R3	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地球球 2.1 2.2 2.3 3.1	部材の 物質含物 有害物 1 2 3 3 外暖境 (再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 パーンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 一の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導入路の位置や形状・数への配慮	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.40 1.00 - 0.40 0.70 - 0.30 0.20			3.4 4.3 2.9
_R3	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地球球 2.1 2.2 2.3 3.1	部材の 物質含物 有言か 1 2 3 外環化・ 5 気熱球イ 1 2 3 4 の 系 騒騒 1 2 3 風間 1 2 3 風間 1 2 3 風間 1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3 3 3 3 4 4 4 4 5 4 5 6 6 6 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	再利用可能性向上への取組み	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導入路の位置や形状・数への配慮	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.40 1.00 - 0.40 0.70 - 0.30	-		3.4 4.3 2.9
_R3	2.6 污染料 3.1 3.2 敷地球球 2.1 2.2 2.3 3.1	部材の 物質含物 有害物 1 2 3 3 外暖境 (再利用可能性向上への取組み 有材料の使用回避 別質を含まない材料の使用 パーンの回避 消火剤 発泡剤(断熱材等) 冷媒 一の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮 の配慮	れぞれを取り外すことが可能 ODP=0.01未満かつGWP=50未満の断熱材を使用している LCCO2排出率67% 適切な量の自転車置場の確保、駐車スペースの確保、駐車場の導入路の位置や形状・数への配慮	5.0 3.7 3.0 4.0 - 4.3 2.9 3.0 3.0 4.0 1.0 3.1 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.20 0.20 0.30 0.70 - 1.00 - 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 - 0.33 0.33 0.33 0.40 1.00 - 0.40 0.70 - 0.30 0.20			3.4 4.3 2.9